

⑫ 具志堅用高のボディトーク

～おやしパワーは地域の力を呼び覚ませるか／元気の出るおやし講座委員会

講師席を囲むように3部屋を横に使い車座風に椅子を並べた。参加者は小学生から80歳代まで、男性が多い。テレビ収録から直接駆けつけた具志堅さんと企画委員の打ち合わせ後、講演が始まる。

内容は、石垣島での幼少時のこと、高校でボクシングを始め、インターハイで優勝。大学進学予定が、羽田から協栄ジムに連れて行かれプロになる。二年目でチャンピオンになり、13回防衛。生活のため、始めたとんかつ屋でのアルバイトは、断れず、5回防衛するまで続いた。さらに、現役時代の楽しさ、苦しさ、自己管理、引退後の健康管理など、朴訥さのなかにも第一人者としての自信ある話し方で、参加者を魅了した。質問にも丁寧に答えられた。受講者と共にエクササイズ等をする時間も約30分取り入れた。縄跳びを披露してもらい、軽快な跳びに歓声上がる。全員でのストレッチなどを楽しく指導していただき、更に雰囲気盛り上がる。また、要望に応じてシャドーボクシング。身軽さ・鋭さはさすが元チャンピオン。

講演終了後の元チャンピオンの声がこの講演の成功を物語っている。「今日の聴衆の方は、話しやすくボクも楽しかった。」

(来場 101名)



▲ 具志堅用高のボディトーク



⑬ おやじフォーラム in 杉並 part3 ～おやじの会大集合／地域活動を楽しむ会

① パネルサロン

杉並区立小学校におけるおやじの会の活動を、パネルで紹介し展示した。同時に、おやじの会のネットワークづくりと情報交換のための活動・「地域活動を楽しむ会」の活動経緯などもパネル展示した。

② 講演会「冒険とおやじ」

【講師】プロジェクト・アドベンチャー・ジャパン代表 林 寿夫

人生は冒険：社会や家庭の中にあって、苦悩する親父たちが元気を取り戻すための「冒険体験活動」のすすめ。

③ ワークショップ「お父さん出番ですよ」

—お父さんが学校活動にかかわるには—

アイスブレイキングをして、絵合わせロールプレイを行ったあと、自己紹介と体験談を通じた情報交換を行った。

各小学校のおやじの会での悩み・工夫（特にキャンプの参加費のあり方）などについて具体的で有意義な意見交換をすることができた。

④ 交流会

ワークショップで話し足りなかったことについて懇談し交流を深めた。土曜日学校についての考え方や実施についての疑問や受け皿としての地域活動など熱心な意見交換が続いた。

(来場 50 名)



▲ おやじフォーラム in 杉並 part3

⑭ 車座トーク part II これからの「参画関係」は？

～車座的視座の社会教育のあり方／社会教育事業推進委員会

1部は齊藤次郎さんの基調講演「人はサンカクよりマルがいい」。これからの関係は「よりそう」という話をテーマにお話をいただいた。2部は矢郷恵子さんの「みんなでコラボ（レーション）」。女性の社会教育参加の歴史をひもときながら、参加者がどのように社会教育に関わってきたか、これからどう関わるべきかという話をひきだして頂いた。

年令層・参加者もさまざまで、世代や立場などを超えて人々が課題を共有し、違いを理解しながら対等な関係で力を合わせるよいきっかけとなった。

(来場 29名)



▲ 車座トーク part II



▲ グリーンマーケット

⑮ グリーンマーケット /JA 東京中央

草花、草木、農産物の展示販売。

(来場のべ 800名)

⑯ フリーマーケット

区民のみなさんによる
フリーマーケット

(来場 280名)



▲ フリーマーケット



⑰ 料理教室 地域の中で素敵な仲間づくり、健康づくり！ /ハーモニー

うどん作りとうどんのおかず

【グループ名】 楽熟会・SRC、菜の花会、月曜会

男性グループ（楽熟会主催）の自主的料理づくりの研鑽の発表の場としてそれに菜の花会（女性グループ）の協同参加で男女参画の一事業として企画実施した。男性グループの“手打うどん”の実演からご覧いただき、女性グループの天婦羅を添え物としておいしい“手打うどん”の試食をしていただき大好評を得た。試食は、一般参加者、お母さんグループ等

（来場 120 名）

おからケーキ&人参ゼリーと紅茶

【グループ名】 いなほ会、カサブランカ

おからケーキ、人参ゼリーを作りました。おいでになったお客様から大変

好評をいただきました。人参が入った人参ゼリーは色も良く生クリームを乗せたのがきれいで良いとの事。おからケーキも、とてもおから入りとは、思えない、たいへんおいしいとおほめの言葉を頂きました。その他、献立表の配布、食物繊維のパネル展。

（来場 120 名）



手作り和菓子（蕎麦粟入り羊羹）と抹茶

【グループ名】 アンダンテ

手作りの和菓子（蕎麦粟入り羊羹）とお抹茶・くつろぎコーナー

午前中の討論会で緊張されていたグループ（杉女連）や地方からの発表者にお出しいして大変喜ばれました。蕎麦むし羊羹のレシピやお茶の効用のパネル・パンフレット等を配布した。お茶室が使用出来て大変良かった。

（来場 166 名）

料理教室 地域の中で素敵な仲間づくり、健康づくり II /ハーモニー

カレー作り（野菜・シーフード・ポークの3種）&サラダ作り

【グループ名】水無月クラブ、華齡クラブ、女性グループ有志

男性が作ったカレーで特にルーがよくきいて大変おいしかったと好評だった。三種類のカレー（ポーク、野菜たっぷり、シーフード）を手際よく作り、献立表も配布した。若いお父さんの参加は少なかったが（子どもの運動会）、熟年男性と交流しながら熱心に参加された。又お互いのグループ交流も出来た。民生委員さん 45 ～ 50 名に試食を出した。

（来場 120 名）

ヘルシーなお酒のおつまみ

【グループ名】カルパッチョの会、女性グループ有志

男性グループによる気軽な「ヘルシーなおつまみ」のテーマで 4 種類をグループで事前に練習をしながら作り、献立表も写真を入れながらのレシピである。午後の一般参加者が少なかったので、女学生グループや「おやじの会」の方々に試食を出した。又、応援の女性グループも楽しく参加して、さっそく自分達のグループでも作ってみるとの事。男性グループ、女性グループの交流が出来た。

（来場 45 名）

⑱ 創作落語 女性真打ち

桂 右団治 師匠

真打になるまでの話や落語社会の裏話などユーモアを交えて話し、聴衆の方とのやり取りもあって和やかでくつろいだ雰囲気醸し出した。男性社会と思われがちな落語家社会が、



▲ 桂右団治 師匠

実は師弟関係には厳しいが、男女ということではほとんど差別がないこと、また落語には言葉遣いは荒いが人情の機微に触れるものも多く男女関係や家族関係など学ぶところの多いことなどを話していただいた後、落語「厩火事」を楽しんだ。

（来場 43 名）



①9 ハート・トゥ・アート アートカーニバル 1 /ハート・トゥ・アート実行委員会

高円寺で活動しているアートのフリーマーケットをメインにしたイベントです。今回は、絵画、ガラス、写真、人形、イラスト等、20組ほどの作家さんが参加しました。参加にあたり、“男女共同参画”をテーマにした作品を考えてもらう試みも行いました。

イベント当日の来場者数の少なさはある程度予想していたので、開催直前には周辺住宅に3000枚のポスティングなどを試みましたが、結果的には400名程度。残念ながら力及ばず、イマイチだったと思います。しかし、いつもとは違った年齢層の来場者も多く、作家さん達にとっては有意義だったのではないのでしょうか。

このような機会を与えて頂き、本当に感謝しております。ありがとうございました。

(来場 400名)



▲ ハート・トゥ・アート アートカーニバル1



⑳ プレイバックシアター 体感しよう、自分らしくもっと自由になろう

今回、男女共同参画記念事業の一環として、「自分らしく自由に」をテーマにスタジオデュオによるプレイバックシアターを開催いたしました。参加者は杉並区や隣接の区のみならず、千葉や横浜までも広がり、年齢も小学生から82歳までの広い範囲になりました。

始めに今回の男女参画事業に参加した感想を参加者に聞き、その気持ちを一瞬に表現するアート「動く彫刻」が行われました。表された感情は「少子化の問題」や「女性の解放」まで表現されました。メインイベントのプレイバックシアターは「夫婦のテーマ」や「父親から娘に託されたテーマ」が演じられました。人はかけがえのない存在であり、男女が出会い、子供が生まれ、そして病気で失うという荘厳なテーマが、その場に再現されていく即興劇に参加者全員が深く感銘し、想いを共有する素晴らしい時間が流れていきました。

参加者からの終演後のアンケートには感動のメッセージが多数寄せられました。「写真でもなく、もちろんビデオでもない、心の写真の再現といえようか、観客が参加するという、男女共同参画事業にふさわしいイベントだ」(60歳代女性)・「性差にとらわれることなく、物事の本質、命の大切さ、人間として有るべき姿を改めて考えさせてくれました」(30代男性)・「今まで、幾度も思い出す出来事が、まるでモノクロから総天然色に変わったように鮮やかによみがえってきました」(50代女性)・「今回初めて、プレイバックシアターを拝見したことにより、単に見る観客の立場から自分で感情を解決していけるようになりました」(50代男性)等が寄せられ、「これからの21世紀は男女とも差別なくお互いを尊重し、自分を活かす社会になって欲しい」(50代女性)とのコメントが印象的でした。



皆様の感想から、今後ともこのプレイバックシアターを継続して、ライブの感動を一人でも多くの人々に伝えていきたいと改めて思った事業でした。

(来場 47 名)



⑳ **なぜ私たちはへそを出すのか～女性とファッションのトークバトル**
／立教女学院短期大学サミット委員会

メディア等で何かと取り沙汰されている若い女性の「へそ出しファッション」を対極にある「リクルートスーツ」とからめて考案した。立教女学院短期大学の有志による寸劇では、日常をへそ出しで過ごす短大生が、就職活動が始めるにあたってお仕着せのリクルートスーツを着用すべきかどうかで悩むというシチュエーションを設定の上、当事者からの問題提起という形を取った。最後にコーディネーターが「アイデンティティと身体の臨界」についてまとめの講話をした。

【コーディネーター】

立教女学院短期大学専任講師 日本ジェンダー学会理事 海老原暁子

(来場 30 名)



▲ なぜ私たちはへそを出すのか

②② **ビデオ上映「ミレニアムの女性たち」ほか**

政治、労働、文化、メディア、環境など多岐にわたるテーマで、女性問題に関するテレビ番組の制作を世界中から募ったシリーズと男女共同参画に関する啓発ビデオを上映。

(来場 16名)

②③ **展示コーナー**

杉並区や近隣自治体の事業、杉並の女性団体、NPO等の展示。また、「区民が語り区民が綴る 杉並の女性史 明日への水脈」を展示、販売。

(来場 101名)



▲ 展示コーナー（右端：杉並の女性史の展示、販売）

②④ **交流コーナー / 杉並女性団体連絡会**

区内外の女性達が情報交換、交流。

②⑤ **女性電話相談**

男女平等推進センター相談員が、夫婦、家族、職場、近隣との人間関係及び暴力などの相談を実施。